

令和2年度 第4回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	令和3年2月24日(水) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数4名)	委員長 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 本間 学(金沢大学准教授) 委員 西村 督(金沢工業大学教授) 委員 栗田 真人(弁護士)		
次第	1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等について ア 令和2年4月1日から令和3年1月31日までに係る本市発注工事 及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 工事成績評点の入札参加資格要件での活用について (3) 制度の検討課題について (4) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (令和2年4月1日から令和2年12月31日) 3 閉会		
抽出案件	5件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> 第5次安原異業種工業団地2号調整池築造工事 令和2年度 臨海水質管理センター機械濃縮棟機械設備更新工事
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> 駅西消防署車庫電動シャッター改修工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育サポートセンター(仮称)等建設工事(設備工事)実施設計業務委託
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 西部水質管理センター流量調整池整備実施設計業務委託
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告 又は意見の具申	令和2年度第3四半期の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
 金沢市総務局監理課 工事契約係
 電話:076-220-2101

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。
工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていることを確認した。

コロナ禍において、入札契約手続きに係る電子化や押印の廃止について、積極的に取り組んでほしい。
また、担い手確保対策や働き方改革の取り組みも継続的に進んでいくべきと考える。国や県の状況も踏まえ、これらの取り組みを具現化してほしい。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>○ 入札契約手続きに係る電子化について、現在実施済みの施策の効果は。</p>	<p>・ 令和3・4年度建設工事競争入札参加資格申請において電子申請化を実施したところ、作業の効率化が図られたことに加え、書類の簡素化も併せて行ったことにより、格納スペースの縮減にもつながり、非常に高い効果を得ることができたと考えている。</p>
<p>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</p> <p>第5次安原異業種工業団地2号調整池築造工事</p> <p>○ 参加者12者のうち7者が辞退しているが、この原因は。また、予定価格が比較的高い案件で落札率が約93%と高いが、工事の内容が影響しているのか。契約後VE対象工事となっているが、VEの取り組みはなされたのか。</p> <p>令和2年度 臨海水質管理センター機械濃縮棟機械設備更新工事</p> <p>○ 応札した4者全者で最低制限価格同額での抽選となっているが、この結果についてどのように分析しているか。</p> <p>駅西消防署車庫電動シャッター改修工事</p> <p>○ 工事規模が大きくない案件だが、随意契約の中では落札率が93%と比較的低い。予定価格と応札額で差が生じる要因は。</p> <p>特別支援教育サポートセンター（仮称）等建設工事（設備工事）実施設計業務委託</p> <p>○ 入札参加業者が2者と少ないが、この原因は。</p> <p>令和2年度 西部水質管理センター流量調整池整備実施設計業務委託</p> <p>○ 10者が参加し、3者が辞退、落札率が98%超と高くなっているが、どのような理由からか。</p>	<p>・ 本工事の入札時には、造成工事や仮設道路の築造工事等の複数の工事が既に発注されており、現場が輻輳している状況であることに加え、既存工業団地の企業に対して出入り部における工程調整が求められることなどから、現場管理が煩雑になると事業者が判断し、辞退や高落札率につながったものと推察している。 また、VE対象工事であったが、提案はなかった。</p> <p>・ 機械設備の更新工事であり、汎用性の高い設備であることから、仕様を満たせばどのメーカーのものでも対応可能なため、受注意欲の高い業者間で最低制限価格と同額の抽選という結果に至ったものと考えている。</p> <p>・ 本市積算による諸経費部分との差や業者の価格面での企業努力によるものと推察している。また、随意契約であることから、予定価格が事前に公表されていない中、毎年行う定期修繕工事とは異なり、単発的に生じた改修工事であることも影響し、積算に差異が生じたと考えている。</p> <p>・ 県内の設備コンサルタント業者の本店が金沢市内に集中していることが背景としてあり、同時期の石川県や他市町の手持ち業務や発注業務が多かったことなどが影響しているのではないかと推察している。</p> <p>・ 辞退の3者については、技術者不足が辞退理由であった。今回業務では、下水処理施設を継続しながら整備することが必要であり、施設全体の運転管理に対する経験や知識が求められること、また、新たな施設の整備と比べ、今回は既存施設を利用するという整備になり、不要な設備の撤去と新たな設備の設置を併せて検討する必要があり、調査において非常に労力を伴うことなどが影響し、高落札率という結果に至ったと考えている。</p>